

## 統計教育の先覚者 杉亨二

### 日本近代統計の祖と言われる

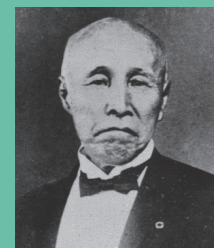
1828年、長崎県生まれ。江戸幕府の洋学教育機関、開成所で教授として働いていた杉は、数字で世の中を分析する統計学に打ち込む。1871年、統計局の前身である大政官正院の大主記を任命され「初代統計局長」と呼ばれる。1879年、国勢調査の試験調査とも言われる「甲斐国現在人別調」を実施。東京統計協会を設立し、明治政府に国勢調査の必要性を訴え続けるも第1回調査の3年前に生涯を終える。



## 大隈重信

### 日本初の統計機構「統計院」を設置 初代院長に就任し国勢調査を訴えた

早稲田大学の創設者で知られる大隈重信は、1881年に統計院を設立し初代統計院長に就任。明治34年には「国勢調査に関する法律」を制定しました。明治38年に第1回国勢調査を実施予定でしたが、



日露戦争、第一次世界大戦の影響を受けて断念。時は流れ、法律制定から15年が経過した大正9年、内閣統計局長の牛塚虎太郎の尽力により、第1回国勢調査の実施が決定しました。

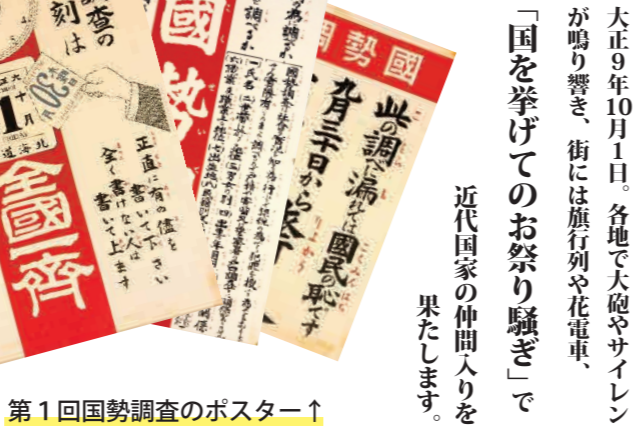
## 原敬

### 近代日本の運営に統計は不可欠 大正9年に初の国勢調査を実施

パリ公使館に勤務していた原は「1886人口センサス」をまのあたりにし、「人口が租税や行政のさまざまな法律の基礎となる」と国勢調査の重要性を強く認識。大正7年に総理大臣に就任した2年後には国勢院を設置し、初の全国的な国勢調査を実施しました。しかし、実施の翌年、東京駅で暴漢に襲われたため、調査結果を見ることなく永眠しました。



さまざまな苦難を乗り越えて実施された第1回国勢調査。その後は、私たちの未来を示す羅針盤として、大正、昭和、平成、そして令和へと、百年の歴史を積み重ねていきます。



第1回国勢調査のポスター↑

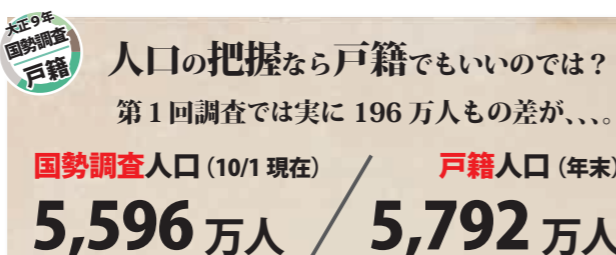
テレビもラジオも、もちろんインターネットもない時代です。全国民に周知するため、ふりがな付きのポスターを貼り、標語や川柳を募集するなど国を挙げての広報に国民は大騒ぎ。第1回は大砲やサイレンが鳴り盛大にスタートしました。こうして100年の歴史は積み重ねられていくことに。

私も一句

「産声に一人追加を急に書き」  
調査の途中で赤ちゃんが生まれたのでしょ。あわてて書き加えた様子を微笑ましく描いています。

こんな小話も作られたそうで…

「お前はでかいズータイのくせに仕事は半人前だ」  
「何言ってるんだい、国勢調査じゃ一人前だよ！」



人口なら戸籍で分かるのでは？そう思われていたことも国勢調査の実施が遅れた一因と言われています。しかし、当時の戸籍は届出の間違いなど、正確な人口をとらえるには問題が。また、人口構造や世帯の実態を明らかにする点でも不十分でした。

こんなに  
ちがった！

# 知られざる！ 制度開始 100年の節目 国勢調査の世界

国を挙げて大正9年に始まった国勢調査は5年ごとに実施され、今回で100年という節目を迎えます。国の情勢を知るための「国勢調査」。これまで積み重ねた歴史を振り返り、そして「今」を知ることが、私たちの豊かな未来をつくる第一歩。今回はそんな国勢調査の世界をご紹介します。

## 大正9年 国勢調査の歴史編

### 【国勢調査 解説員】

国勢調査の歴史に魅せられ、統計調査をこよなく愛する自称統計研究家の小川 解説員。今回の特集テーマが「国勢調査」と聞き出演を熱望してきたこの男の、熱い思いをお聞きください。

政策企画課  
小川弘晃 主事

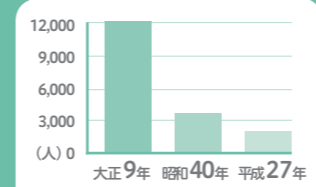


「いま」を知ることが、  
次の100年をつくる

### 2問目からはページ上部で出題！

#### 100年目の特別企画国調クイズ！

Q1. グラフは？ 数の推移

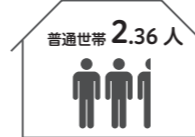


ヒントは「平成の〇〇〇」で減ったアレの数です！

国勢調査クイズは全4問！問題はP2～7。答えは広報さんこう9月号のどこかに掲載。

5年に1度行われる「国勢調査」。国の勢いを調べるのではなく、国の情勢を知るための調査で、「国が行う最も基本的で重要な統計調査」に位置付けられています。10月1日現在で日本に住んでいる全ての人を対象に行われ、日本の「今」を知ることと未来への政策に活かす、国の羅針盤的な役割を担っています。大正9年に始まった国勢調査は、今回で100年という節目。日本の未来を見据え、国民一人ひとりの幸福を願い、並々ならぬ努力で実現させた先人たち。まさに「国を挙げて始まった」国勢調査は、大正から昭和、平成、そして令和を生きた私たちに受け継がれています。

5,344 万世帯



平成27年調査

1,122 万世帯



大正9年調査

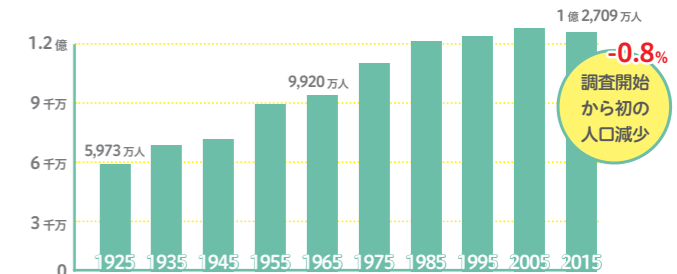
100年経過

### 世帯数は100年で4.7倍

人口減少時代にも関わらず世帯数は急増中。3世代同居が減少し核家族、一人世帯が増加したことで、世帯員数は4.89人から2.36人と減っています。

第1回調査時は総人口の約5%だった65歳以上の割合が、前回調査時は26%と100年で5倍以上に増加。実に4人に1人が高齢者となっています。

### 割合5倍 65歳以上の高齢者は5倍



### 人口は100年で2.3倍

第1回国勢調査から増え続けた人口は55年で2倍に達しました。しかし、2015年(前回)調査で初めての減少。人口減少時代に突入しました。

## 国勢調査で 変化が見える

日本は100年で  
こんなに変わった

### 平均寿命は2倍以上に

